

# 令和3年11月臨時部長会議 会議録（要旨）

◇日 時 令和3年11月18日（木） 午前8時35分から午前9時55分まで

◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室

◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、及び関係課職員

◇会議内容

## 1 協議事項

### （1） 令和3年12月市議会定例会提出議案について（総務部）

標記事項について、総務部長から一括して説明し、協議を行った。（資料1参照）

○質疑なし

○今後の方向性

いずれも原案を了承。

### （2） 令和3年度12月補正予算(案)について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明し、協議を行った。（資料2参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承。

### （3） 第四次長野市地域福祉計画(案)に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の実施について（保健福祉部）

標記事項について、保健福祉部長から説明し、協議を行った。（資料3参照）

○質疑

〔市長〕社会的課題となっている孤立・孤独死を防ぐような施策を展開してほしい。

〔保健福祉部長〕孤立・孤独死は重要な課題として認識している。現在「長野市孤立防止・見守りネットワーク事業」などを行っており、地域住民や事業者との連携の輪を広げ、地域全体で見守る体制を作っていくよう、計画にも盛り込んでいる。

○今後の方向性

原案を了承。

### （4） 第82回国民スポーツ大会の実施競技について（文化スポーツ振興部）

標記事項について、文化スポーツ振興部長から説明し、協議を行った。（資料4参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承。

## 2 その他

### （1） 放課後子ども総合プラン事業の運営体制の在り方検討に関する中間報告について（こども未来部）

標記事項について、こども未来部長から説明を行った。(資料5参照)

## ○質疑

〔市長〕社会的ニーズの高い事業であるため、良い仕組みにしてほしい。

〔副市長〕新法人が出来た後には、各地区の放課後子ども総合プラン運営委員会はどうなるのか。

〔こども未来部長〕学校区毎に設置している運営委員会については、住民自治協議会から委員候補者の内申を受けするなど、地域との関係もある。本報告の付帯意見として、行政、事業者（運営主体）と地域との役割分担の見直しの必要性にも触れられており、見直しを実施していく。

〔副市長〕本事業の仕組みは複雑なため、整理した方がよい。また、理想を求めすぎると費用がかさむ。制度設計に当たっては、持続可能性にも留意し、費用のイメージを作っておくこと。

〔保健福祉部長〕職員に求められる専門性が高度化しているとのことだが、新法人ではどのような職員を想定しているか。

〔こども未来部長〕ボランティア的な職員だけでなく、専従の職業的な職員を何人か雇用することなどを想定している。

〔保健福祉部長〕人件費をかけると、それに見合った成果を求められることも念頭に置いた方がよい。

〔保健所長〕「専門性を持った職員」とは、どのような職種か。

〔こども政策課長〕本事業に携わる主たる職員である支援員は、保育士資格又は学校教員の免許を持つ者が研修を受けて就任するものであり、それほど高い専門性は求められない。ただ、ボランティア的な立場で関わるのか、一定の責任を持って携わるかによって大きな違いが出てくるため、職業的な職員を一部配置することはかなり有効と考える。高度な専門性が必要な業務については、外部人材を活用する方向である。

〔財政部長〕来年度以降のスケジュールはどうか。

〔こども政策課長〕来年10月から12月頃には新法人を立ち上げ、その後1年かけて社協からの職員の採用等を行い、令和6年度当初から法人としての活動できるようにしたい。必要な経費は、令和4年度6月補正予算で措置する予定。

以上